

議会だより

# おおえ

2015.1.22

No. 134



## 第4区民による新年交通安全祈願祭

議長あいさつ	2
第4回定例会	3
一般質問（4人が町政を問う）	9

開かれた議会をめざして	14
総務文教、産業厚生常任委員会 現地調査	18
私もひとこと/編集後記	22

# 春



## 明けましておめでとうございます

大江町議会議長 小野祐一



平成二十七年の新春を迎え、心よりお慶びを申し上げます。

昨年末は思いもよらぬ国政の選挙になり、皆様におかれましてもあわただしい年の瀬になったことと思います。

さて当議会においては「議会活性化検討特別委員会（委員長 古城副議長）」を設置して、町民に開かれた活気ある議会を目指して検討を重ねてまいりました。

現在も検討中ではありますが、町民皆様のご意見、ご指導をいただくなかで、今年度中を目的にま

とめてまいりたいと思っております。

平成二十七年一月一日現在の大江町の人口は九千人を割り、八千八百人あまりになってしまいました。

議会においても、町政執行の両輪として人口の減少に歯止めをかけるべく、しっかりと取り組んでまいります。

年月の経つのは早いもので、本年九月には大江町議会議員の選挙が行われます。

大江町の活力ある将来のために、二十代、三十代、四十代、五十代、また女性議員など、各層から多くの方の立候補を熱望するものであります。

年頭に当たり、この一年が皆様にとって実りの多い明るい年でありますよう心より祈念申し上げますとともに、町民各位の一層のご協力をお願い申し上げます、新年の挨拶といたします。

# 平成26年 第4回 定例会

平成26年第4回定例会は、12月3日から5日までの3日間にわたりに開催されました。

今定例会では、財産の取得や条例の制定及び改正、補正予算など13議案、請願2件が提出され、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

また、前回定例会で継続審査とされていた請願1件が提出され、本請願を不採択とする総務文教常任委員会の審査結果報告のあと、賛成・反対の立場から議員の活発な討論が行われ、全議員による採決の結果、本請願は賛成少数により不採択となりました。（詳しくは8ページ）

## 一般会計補正 予算(第5号)

歳入歳出にそれぞれ1千80万円を追加し、一般会計予算を51億4千10万円とする補正予算案を全会一致で可決しました。

## 入ってくる主なお金

### ○地方交付税

・普通交付税(追加) 2千472万円

### ○国庫支出金

・保育所運営費(追加) 458万円  
・社会保障・税番号システム整備費補助金 633万円  
・保育緊急確保事業費補助金

### ○県支出金

・保育所運営費(追加) 229万円

## 支出する主なお金

### 総務費

・町有林伐採等委託料(追加)

270万円



新しい中央公民館に使用される木材

・町有施設整備基金(追加)2千万円  
(中央公民館建設等に充てるため)

・修繕料(追加)

202万円

(地域おこし協力隊員が居住する空き家の修繕費)

・施設用備品購入費(追加)205万円  
(平成27年4月にオープンする山里交流館の備品購入代)

### 民生費

・介護保険特別会計繰出金(追加)

187万円

・児童措置委託料(追加)

103万円

・民間立保育園運営費委託料(追加)

883万円

(保育園の児童が増えたため)

### 衛生費

・予防接種委託料(追加)

197万円

・広域行政事務組合クリーンセンター、斎場負担金(減)2千380万円

(損害賠償解決金整理基金の町分担金の減)

### 商工費

・「いしや先生」志田周子<sup>ちかこ</sup>映画化

200万円

実行委員会負担金

### 土木費

・消耗品費(追加)

134万円



「いしや先生」小新弥勒堂でのロケ

(除雪機のチェーン代)

・除雪業務委託料(追加) 500万円

(町道除雪区間の追加による)

・除雪機械等購入費(減) 670万円

(ロータリー除雪車購入費の入札による減)

・町道改良及び舗装工事費(減)

2千610万円

(町道藤田堂屋敷線工事の精査)

・用地費(追加) 2千121万円

(町道藤田堂屋敷線2工区分)

・物件補償費 540万円

(諏訪堂連絡線の用地費)

### 教育費

・幼稚園就園奨励費補助金(追加)

161万円

(幼稚園の児童が増えたため)

・設計監理委託料(減) 962万円  
(中央公民館改築にかかる設計業務委託料の精査)

### 災害復旧費

・災害復旧工事費(減) 1千265万円  
(残土運搬経費がなくなったため)  
・災害復旧工事費(減) 300万円  
(林道の復旧工事費の精査)

### 介護保険特別会計補正予算

#### (第2号)

歳入歳出にそれぞれ1千518万円を追加し、補正後の予算総額は10億4千377万円となりました。

### 宅造成事業特別会計補正予算

#### (第2号)

歳入歳出にそれぞれ263万円を追加し、補正後の予算総額は1億44万円となりました。

### 水道事業会計補正予算(第1号)

資本的支出の予算額に799万円を追加し、資本的支出の総額は2億5千143万円となりました(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度損益勘定留保資金7千635万円、建設改良積立金242万円で補てん)。

## 活発な質疑応答

### 布施議員

来年5月に開催される山菜サミットののぼり旗、チラシ等作成委託料があるが、現在の進捗状況は。

### 農林課長

平成27年5月24日(日)、25日(月)の2日間の開催が決定した。

ふれあい会館と、来年オープンする七軒地区の山里交流館及び柳川温泉を会場として、参加人数400人、宿泊者数80人のシンポジウムを予定している。

### 安食議員

鳥獣被害対策実施隊報酬(追加)とあるが、三郷地区で



イノシシ捕獲用の罠

は、イノシシの被害が増加している。良い対策はないか。

### 農林課長

イノシシは警戒心が強い動物であり、今後も捕獲隊の方々と捕獲研究をしていく。

### 松田議員

藤田地区の団地造成で、分譲販売完了はいつ頃を見込んでいるのか。また、販売の広報は。

### 政策推進課長

5年後を目標に完売を目指している。

分譲にかかる特典を設けるほか、テーマを設定してインターネットや広報紙等で広報するなど、平成27年秋の分譲開始に向け準備を行う。



若者向け20世帯の団地が造成される

### 菊地議員

山里交流館の関連予算が多いが、意気込みを伺いたい。

### 町長

七軒地区の地域活性化と雇用の場の確保、子ども達の言葉の教育、町民の寄附による蔵書、山菜関連の様々な動き等々が可能になる拠点を目指す。

### 宇津江議員

山里交流館の利用者は基本的に自炊と聞いているが、食材の手配などについては。

### 政策推進課長

基本的には自炊であるが、地元の方の協力が得られれば食事の提供も検討していく。

また、柳川温泉の食事提供や、大山自然公園のコテージ宿泊客に対する食材提供などを参考に検討したい。

### 結城議員

山里交流館の指定管理者の指定期間が3年となっているが、通常5年ではないのか。また賃金については。

### 政策推進課長

当面の試行期間として3年を設定した。

指定管理料は約700万円で、その1/3程度を賃金として見込んでいる。

### 宇津江議員

指定管理者のスタッフである地域おこし協力隊員について伺う。

### 政策推進課長

予定であるが、自

然保護団体の仕事をしている埼玉  
県在住の方に打診している。

**伊藤議員** 山里交流館を活用して  
薪を商品化しては。

**政策推進課長** 薪を通して山里交  
流館の収益に反映されるよう、関  
わりを持っていきたい。



リフォームし明るくなった山里交流館の食堂

**結城議員** 今回の職員給与改定を  
ふまえ、本町職員の給与は他市町

村と比べどの位置にあるのか。

**総務課長** ラスパイレス指数での  
比較で平成25年度の場合、35市町  
村のうち29位にある。

**伊藤議員** 地方交付税が追加され

たが、今後どの程度の交付が見込  
まれ、どの位の予算が組めるのか。  
**総務課長** これから、7千万円程

度の予算が組めると見込まれる。

**結城議員** 県の保育士等処遇改善  
臨時特例事業補助金164万円が減額  
された理由は。

**健康福祉課長** これまでは県から

の補助が10分の10だったが、国か  
らの補助が4分の3に変わったた  
めである。

**松田議員** 志田周子映画化実行委  
員会への負担金は、町民に対する

説明をどう考えているか。

**政策推進課長** 志田周子の出身地  
でもあり、町の観光振興に寄与す  
るよう冬季2次ロケ時に柳川温泉  
を利用していただくなど、本町の  
経済が潤うよう働きかけを行って  
いく。

**土田議員** 映画化の負担金200万円

は妥当な金額と思うので、映画化  
を機会に、両町の振興や観光の面  
について力を入れて欲しい。

議決後の支払い方法については。  
**政策推進課長** 実行委員会の事務

局である西川町社会教育課と十分  
に打ち合わせをしながら、速やか  
に支払いをしていく。

## 専決処分

2件

大江町医療給付に関する条例の  
一部改正

山形県医療給付事業補助金交付  
規定の一部改正に伴い、ひとり親  
家庭等医療給付事業の対象者を追  
加するものです。

平成26年度大江町一般会計  
補正予算(第4号)

衆議院議員選挙の実施に伴う経  
費等が必要となったことから、歳  
入歳出予算にそれぞれ1千180万円  
を追加する補正を行ったものです。

## 財産の取得

藤田地区住宅団地整備事業用地  
を取得するものです。

一、取得しようとする財産

大江町大字藤田字前田86番地2  
外5筆 7千199・7平方メートル

二、取得予定価格

6千293万1千305円

三、土地所有者

山形市鉄砲町2丁目13番18号  
株式会社ヤマコー 外5名

## 条例の制定等

4件

大江町山里交流館の設置及び  
管理に関する条例

旧七軒西小学校を大江町山里交  
流館として活用するにあたり、  
設置及び管理に関する事項を定め  
る必要があるため制定したもので  
す。

大江町新規就農者住宅条例

西山杉を活用して望山地区内に新  
築した大江町新規就農者住宅に関  
する事項を定める必要があるため、  
制定したものです。

大江町一般職の職員の給与に  
関する条例の一部改正

現在の経済情勢と山形県人事委  
員会勧告を踏まえ、一般職の職員  
の給与を改定するため改正したも  
のです。

大江町国民健康保険条例の  
一部改正

健康保険法施行令等の一部改正  
に伴い、出産育児一時金の支給額  
を改めるため改正したものです。  
なお、産科医補償制度に加入する  
医療機関での出産に対する出産育  
児一時金は、42万円のままです。

## 指定管理者の指定

大江町山里交流館の指定管理者の指定

大江町山里交流館の指定管理者を指定するものです。

### 一、公の施設の名称

大江町山里交流館

### 二、指定管理者の名称

大江町大字柳川959番地の1

さわらび会 代表 今野壽子

### 三、指定の期間

平成27年4月1日から

平成30年3月31日

## 廃止

西村山区視聴覚教育協議会の

廃止

西村山区視聴覚教育協議会を廃止するため、議会の議決を経ようとするものです。

## 12月定例会

### 議長からの諸般の報告

\*大江西川両町議会議員協議会総会並びに研修会

11月10日（月）、西川町「玉貴」を会場に開催されました。

総会では、県道の整備促進の要望を行うなどを決定し、また研修会では、左沢出身の志田周子<sup>ちかこ</sup>医師の生涯を描いた映画化についてお話を伺いました。

（詳しくは21ページに掲載）

\*町村議会議長会全国大会の開催

11月12日（水）、衆参両院議長をはじめ高市総務大臣、石破地方創生担当大臣の列席のもとNHKホールにおいて開催されました。

大会では、全国の町村は過疎化や少子・高齢化の中で厳しい雇用環境にあり、加えて東日本大震災や福島原子力発電所事故の影響は国全体に及んでおり、こうした中で、町村のさらなる振興発展をめざし、果敢に行動していくこととした大会宣言を決定しました。

## 町長からの

## 行政報告

\*大江町新型インフルエンザ等対策行動計画の策定

新型インフルエンザは、毎年主に冬季節に流行する季節性のインフルエンザとは違うものであり、発生した場合ほとんどの人が免疫をもっていないため、世界的な大流行となり、大きな健康被害と社会的影響をもたらす恐れがあります。

また、新型インフルエンザと同等の危険性のある新たな感染症が発生する恐れもあります。

そのため、平成24年4月に「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が制定され、これに基づき平成25年6月に国において「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」が策定され、12月には「県行動計画」が策定されました。

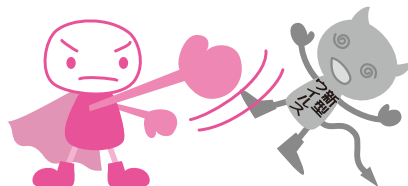
市町村においても行動計画を作成することが定められているため、このたび「大江町新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定しま

した。

策定にあたっては、医師会、区長会、商工会、福祉施設、県などの関係機関の方々11人を委員とする「計画策定委員会」を設置し、ご意見をいただいております。

対策については県、国、医療機関等と連携しながら実施します。

また、基本的な情報や発生した場合の対策については、町のホームページ等で情報を提供していきます。



\*平成26年度大江町職員採用試験

計20名の応募があり、9月21日に学力選考による1次試験、10月26日には1次試験に合格した9人で、小論文作成や面接、集団討論、適性検査による2次試験を行いました。

その結果、上級行政職1名、初級行政職1名の計2名を本年度の合格者とし、平成27年4月からの採用内定を決定しました。

# みなさまからの

## 請願

### 【請願第6号】採択

『米の需給安定対策に関する件について』

#### 《請願者》

さがえ西村山農業協同組合

代表理事組合長 古沢 明

#### 《請願の趣旨》

26年産米は出荷り時からかつてない水準まで価格が下落し、生産現場では大きな不安と混乱が広がっております。農地の集積を進めてきた大規模な担い手ほど被る影響は大きく、所得倍増を目指す新たな農業・農村政策がスタートからつまづきかねない、憂慮すべき事態となっております。

我々JAグループは26年産米の需給改善と生産者の所得の確保に向け、27年産における飼料用米の大幅な生産拡大に総力を上げ取り組みほか、生産者の手取り最大化に向けた販売戦略の構築など、最大限の取り組みを展開しております。我が国が誇る水田農業を次代

に継承していくために、政府に対して下記事項の提出をお願いするものであります。

#### 1 26年産米にかかる緊急対策

本県農業及び稲作農家の経営はもとより、地域経済に与える影響に鑑み、需給と経営安定に向け、過剰米及び米価下落の緊急対策を講じること。

#### 2 米の需給と価格の安定対策

政府備蓄米の柔軟な買入・売渡の仕組み等の措置により、凶作等による米の需給変動を補正する仕組みを構築すること。

#### 3 米価変動に対応した経営安定策

生産調整に取り組むすべての稲作農家が、経営安定化により創意工夫を生かした経営を展開できる



米が多く積まれた倉庫

よう、米価変動に対応しうる経営安定策を構築すること。

### 【請願第7号】採択

『農協改革に関する件について』

#### 《請願者》

さがえ西村山農業協同組合

代表理事組合長 古沢 明

#### 《請願の趣旨》

政府は、本年6月改訂の「農林水産業・地域の活力プラン」において、農業の成長産業化に向けた農協改革の推進を決定し、次期通常国会への農協改革にかかる関連法案を提出すべく、改革の具体化に向けた検討を行っている。「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、地域活性化に取り組みむことこそ、JAグループが目指す基本方針である。ついては、地域農業や農村振興に果たしてきたJAの価値・役割をご理解いただき、真に農家組合の所得向上と地域活性化につながるよう、左記のとおり強く要望する。

一 地域の振興や農業の多面的機能の発揮についても農協法の目的に位置づけ、事業目的の見直

しは協同組合の基本的性格を維持すること。

二 准組合員は農業や地域経済の発展をともに支えるパートナーであり、准組合員の利用制限は行わないこと。

三 JA・連合会の協同組合としての事業、組織を制約する一方的な事業方式・ガバナンス制度や法人形態の転換等は強制しないこと。

四 自立したJAの自由な意思に基づき生まれ変わる新たな中央会は、代表、総合調整、経営相談・監査の機能を十全に発揮できるよう、農協法上に位置づけること。



地域活性化に取り組むJAグループ

## 【請願第5号】

不採択

『集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを国に求める意見書の提出に関する件』

### 《請願者》

山形県平和運動推進労働組合センター

議長 岡田 新一

### 《請願の趣旨》

憲法の解釈を変えるならば、国民的な議論や国会等で慎重審議される必要がある。安易な解釈改憲は、立憲主義を否定することになる。海外での戦争に参加することにつながる集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈の変更は行わないこと。

### 賛成・反対討論

#### ● 請願に賛成の立場から ●

**松田敏男 議員** 今、政府が実施しようとしている集団的自衛権行使容認は、国会論議もなしに閣議決定で憲法9条を拡大解釈し実行しようとするものである。

歴代の首相も、この問題にだけは誰一人として手をつけることなく今日に至っている。

その中身は、国内の紛争でなく、諸外国の戦争に自衛隊を派遣しよ

うとするものである。

国民の大多数が、憲法9条の改正や集団的自衛権行使容認に反対している。

**伊藤慎一郎 議員** 戦時中の沖縄戦では、何万人もの犠牲者を出し、日本本土では各主要都市が空爆に遭

い、そして広島、長崎と原爆が投下された。罪のない子供達、国民が犠牲になり、戦争はこりこりだ。絶対に戦争はしないということ

を宣言して憲法9条ができたのではないか。

自衛権と集団的自衛権はまったく違うものであり、認められれば自衛隊は軍隊になり、軍事拡大に拍車がかかり、徴兵制度復活につながる。

時代が変化したと言って見方を変えれば大変なことになる。

#### ▼ 請願に反対の立場から ▲

**結城岩太郎 議員** 憲法9条の解釈変更は、中国の軍事的台頭に対抗

するため、さらに、沖縄県、尖閣諸島をめぐる衝突が起きた場合の米国支援を確実にしたためである。

ただし、憲法9条により戦争することはできない。

マスクミによる集団的自衛権の

世論調査において、読売、毎日、産経、FNNでは、賛成派は反対派を上まわっている。

行使を可能にすれば、「米国は日本を守るが、日本は米国を守らない」という非対称の同盟を是正することができる。

**宇津江雅人 議員** 中国による尖閣

諸島進出問題、北朝鮮の核開発問題、日本列島に向けたミサイル発射など列島周辺は不穏な情勢にある。

これらに対し、独立国家として専守防衛に徹することは言うまでもない。

集団的自衛権は国連憲章第51条や日米安保条約第5条でも認められており、集団的自衛権はあくまでも自衛権で、強大国、弱小国に限らず侵略企図をもった国からの攻撃を阻止・抑止し、抑止力の強化につながる。

憲法は「必要な自衛のための措置」を認めており、政府は各国との同盟関係の重要性や日本の安全と存続のため、国際協調関係や脅威環境を考慮し、限定的集団的自衛権であれば条件を満たすものと決定している。

## 村山地方町村議会議長会 正副議長・事務局長合同会議

11月19日（水）～20日（木）、

秋田県横手市秋田ふるさと村・星空探検館スペースシア、トリックアートを視察研修の後、秋の宮温泉「秋の宮山荘」で合同会議を行いました。

協議では平成27年度事業計画、予算（案）について承認されたほか、①米価下落に対する各町の対応と今後の運動・提案等②議会に関する定数・議員報酬・政務活動費等③各議会の活性化への取組み状況等について、情報交換が行われました。



「秋の宮山荘」での研修





士田 勵一 議員

## 信号機の設置を問う

町長

今後とも、設置すべきところには設置するよう県に具申ししていく

**質問** 町道「藤田大明神線」は全線開通され、信号機の設置についても11月19日に可動し一安心しているが、開通以来、当交差点での交通事故が12件以上発生している。

この藤田十字路に、どうして開通と同時に信号機を設置することができなかったのか。

死亡事故が起きないと設置しないのではないか…という声が多くの方から寄せられている。

信号機の設置については、過去に「道の駅おおえ」に接する十字路への対応の遅れ、木の沢地区を通る国道287号線の横断歩道への対応の遅れと同じような結果になっているものと思えてならない。

道路整備は今後も実施されていくが、事業実施にあたっては、信号機・横断歩道・交通規制標識等が、当初から設置されるようにすべきだ。

将来的に見込まれる交通量や歩行者等の状況をあらかじめ予



安全になった藤田十字路交差点

測し、安全についても十分検討したうえで、町民が安心して利用できるような道路整備に努めるべきと思うが町長の考えを伺う。

**町長** 歩道、信号機等の問題については毎年、県の公安委員会、県警、寒河江警察署等の関係機関と交通安全対策協議会の中で対策を講じてきた。

信号機が設置されるに時間がかかる中で、今回は関係者の努力もあってスピーディーに対応できた。交通安全に実績のある本町としては、今後とも心していきたい。

## 少子化対策の提言その3

町長

第3子以降の保育料無料化を検討する

**質問** 平成25年から、亡くなられた方も多く、人口減少のスピードは増している。

対策として転入者を増やして転出を防ぎ、「赤ちゃんをいっぱい産んでいただける環境の整備」が最も重要だ。

少子化の波は危険水域に達しており、危機的状況をしっかりと認識し、小さい子どもを持つお父さん・お母さんの気持ちを真摯に受け止めていただきたい。

10月10日現在の0歳から小学3年生までの子どもがいる世帯は359軒。この中で、1人と2人の子どもがいる世帯は334軒で、子育て真っ最中の若い世代であり、第2子や第3子が期待される施策が必要だ。

このような良い状況のうちに実行しないと施策の成果は上がらない。

保育料については町民から、第2子から無料化にすべきだとの声が多くなっている。

これまでも提言してきたが、

まずは第3子に対して、出生祝い金25万円を支給し、保育料を無料化するとともに、小学校入学の際はランドセルを、中学校入学の際はかばんを支給するなど、の施策を講じていただきたい。

また、平成26年度末までに「子ども・子育て支援事業計画」を国に提出することが義務付けられているが、今後の子育て支援策をどう変えて、どう進めるのか、考えを伺う。

**町長** 保育等に係る保護者の負担軽減については、第3子以降の保育料無料化も含め、平成27年度予算編成の段階で検討する。

「子ども・子育て支援事業計画」については計画策定委員会を設置し、現在、策定を進めている。



未来の社会を担う子どもたち



伊藤 慎一郎 議員

## 米価下落に対する対策は

町長

町村会として政府に対し要望書を提出していく

質問

今年も実りの秋を迎え、稲刈りの季節を目前にして14年産米の概算金が一斉に発表された。

山形県産米について、つや姫は13年産1万3千700円から1万2千500円で8・8%下げ、はえぬきは1万1千円から8千500円で22・7%の下げ、コシヒカリは1万1千700円から8千800円の24・8%下落である。

米60キ口当たりの生産費は1万4千94円と言われているなかで、今年の概算金は生産費をほとんど下回った。

規模拡大、規模拡大というなかで、農家の所得増大に逆行する。稲作農家が意欲を失わない米対策はないものか、大江町として対策をどうするのか町長に伺う。

町長

現場からの声と受け止め、一般論として米の価格と他の物価との関係が崩れていることに関し、政策が貧困ではなかったかと思う。

手をかけて作った作物の代価としては情けない。

はえぬきの売れ残り、売れない米を作るのはいかがなものか：村山町村会として政府に対し要望書を提出することとしている。

内容として、需要と供給に関する対策、収入減に対する緩和（ならし）、十分な予算の確保、米の消費拡大、米粉の活用、飼料米の増加である。

質問 高価な農業用機械の購入で機械貧乏にならないか心配している。

町長 米価下落緊急対策資金として、実質無利子の融資を予定しているだけでなく、町産米を町で買い上げ、ふるさと納税のお返し品としてできないものか研究していきたい。

町長

米価下落緊急対策資金として、実質無利子の融資を予定しているだけでなく、町産米を町で買い上げ、ふるさと納税のお返し品としてできないものか研究していきたい。

質問

自給率の向上は地域の活性化にもつながると思うが。

町長

自分たちの食料は自分たちで守ることは必要であるが、酪農家の現実として、割に合わないので止めているところもある。

山形県は県の職員にはえぬき10キ口を買ってもらい解消に努めているが、自給率の向上は今後の課題である。



米検査実施状況

## ミニライスセンター増設を

町長

国や県の補助制度を

研究し検討する

質問

大江町では現在2ヶ所にライスセンターがあり、近年の稼働率を見ると稼働能力を超えている状態にある。

今年もまた70才を超えた方が身体都合で稲作りをやめたいと言って、借りていた農地を返した。

返された方はいろいろな人に当

たってはみたがすぐには見つからない現状だ。  
今年の米価の下落もあるとは思うが、問題は農業機械への投資だ。

規模を拡大し大型機械を新たに導入しなければならぬが、個人で行うには大変なことだ。

これからますます高齢化になり、離農していく方が多くなる。その受け皿としてミニライスセンターの増設を考えなければと思いが町長の考えを伺う。

町長 ミニライスセンターが必要な地区については地区間を調整し、国、県の補助制度を研究しながら有利な条件で設置できる方法を検討していく。



本郷東部地区ライスセンター



安食 幸治 議員

## 今後の大江町地域医療は

町長

救急医療体制の充実を計るのが現実的

**質問** 車を運転できる方は、町内外どこでも医療機関でも、自分で自由に行ったり帰ったりすることができ、公共交通機関を利用せざるを得ない方にとって交通手段は大きな問題になる。また、医療機関への送り迎えのために、家族が正社員からパート社員になったり会社を辞めたりすることになれば、町の税収や町内商業の活性化にも大きく関わる。

町と大江町医師会とのかわりの中で、今後の地域医療について、町としてできることや町民の不安を取り除く方法をどのように考えているか伺う。

**町長** 必要な時にいち早く病院に行くことができる救急医療体制を整えるのが現実的だ。また、自宅で介護を受けながら医師の往診が受けられるようなくみも研究している。

町の医療を担う医師の方々には、今後とも町民の健康のためにアドバイスをお願いしたい。

**質問** 大江町のスクールバスの新たな停留所に、左沢中心部郊外の医院付近を加えることはできないか。

また、左沢小学校区内でデマンドタクシーの設定がない地区に、冬期間だけでも、医療機関や中心商店街に行き来する交通手段を設けることはできないか。

**町長** 町民の交通手段について、様々な施策を講じていくのは行政の大切な仕事である。平成13年に町民バスからスクールバスに変わったが、町民の交通手段についても再考する時期になった。様々な提言をいただきたい。



町民の大切な「足」スクールバス

## 左沢高校存続のための提案

町長

側面からの支援と直接の支援を検討していく

**質問** 左沢高校は、平成25年度より新たに総合学科に生まれ変わり、募集定員数120人を上回った。しかし、少子化の影響や中学3年生の入試傾向により、決して安心はできず、現在の3クラスを維持していくのが困難になることが予想される。

現在、JR左沢線を利用するほとんどの方が高校生で、大江町在住の高校生が山形方面への通学でJR左沢線を利用しているが、利用人数も、少子化の影響で減少している。

そこで、JR左沢線を利用して左沢高校に通学する町外の生徒に、幾らかの助成金を出してはどうか。同時に、大江中の3年生が左沢高校に入学した場合に、仮称「左沢高校存続の祝金」を大江町から支給することはないか。

JR左沢線の利用人数の増加と、左沢高校への入学者数の増加が期待できる。

町に高校とJRの駅があると

いう利点と魅力をこれからも維持していくには、町独自の施策が必要だと思うが、町長の見解を伺う。



左沢高校入試の合格発表

**町長** 高校の評価として、卒業後の進路も大切である。町としては、千人規模で来町する左沢高校の剣道錬成会の支援や、総合学科の実習田・実習畑で先生も町民も一緒になって行う農業体験、山里交流館を利用して、左沢高校の1〜3年生がインターシップで社会人としての取り組みをする際に官民が協力する等々、側面から応援できることがある。

支援金というのは念頭にないが、側面からの支援と直接の支援を検討していく。



菊地 勝秀 議員

## 今後のまちづくりを伺う

町長

公約を全力で進めていく

**質問** 今、町内の戸数の10%に当たる空き家があると言われている。定住対策と有効利用を含めた、我が町の空き家の現状とこれからの対策を伺う。

**町長** 空き家の所有者は売却して手放したい、利用する側は自分の間借りたいという、提供側と利用側の希望の相違があり、活用面で大きな障害になっている。利用者からの賃貸の希望に添えていけるように町として推進していく。

**質問** 特に危険な倒壊寸前の廃屋については、即急な対策が求められる。相続していない、抵当に入っているなど解決しなければならぬことが数多くある。**町長** このたび、特定の空き家を行政代執行（強制執行）で取り壊すこともできる新たな法律が施行された。費用についても、国、県がらみの支援を用意する部分を含んでいて、代執行もできる空き家を特定するために、中間的に様々な意見を聞く委員



倒壊寸前の空き家

会を設置することになると思う。地域住民との連携により対策を講じていく。

**質問** 雇用対策として、藤田工業団地を整備し、企業誘致の受け皿をどのように進めていくのかを伺う。

**町長** 誘致に応じるといふ企業に対して土地が用意されていないということはあつてはならず、先に進められるよう事務方に指示している。近い将来形になって出てくる。

**質問** 人口減少対策として最も効果のある、住宅団地造成について伺う。

**町長** 今回いくつかの候補地の中から藤田住宅団地に決定した。いずれの場所も住宅団地として適した場所であり、連続的に用意しておく必要があるため、次なる住宅団地の検討を行う。

**質問** 団地販売について、若い人たち、家族の新しいスタイルの、定期借地権活用について伺う。

**町長** これからの検討課題だ。大江町に家を建てたいという思いに、定期借地権が妥当だという納得感は得られないのではないかと思っている。

**質問** 今、「暮らしの中で喜びを実感できる」ふるさと納税に関して、時すでに遅しの感が否めないが、今後の進め方を伺う。**政策推進課長** 本町に愛着を感じ貢献したいという本来の趣旨も大事にしながら進めていく。

来年度から、クレジット決済もできるようにする。返礼品の特典についても、農産物、商工品などの物品と、温泉利用など魅力ある企画を進めていきたい。

**質問** 「ここに暮らす喜びを実感できる町」というテーマのもとに、夢や希望に向かって共に

行動することを基本理念としていっているとあっておられるが、これからの具体的な政策を伺う。

**町長** 選挙民は、私が訴えた政策や公約に対して支持してくれたのだと理解している。その中で、まだ庁舎にエレベーターを設置していない。駅前活性化については、土地は準備したが、具体的な形にしていない。中央商店街の活性化の件も含めて、公約が私を動かしていることを理解していただきたい。

**質問** 町長をリーダーとした役場の縦組織と、私たち町民の横のつながりが交わったときに力がプラスに働く。町民と、行政に携わる人々の水平思考の集合体から、様々なアイデアと企画が生まれ、それを縦組織が力強く牽引していくことが大事である。

**町長** 資源のない国で、工業立国を目指す国は減びてしまふ。広い視点で工業立国を目指す、理数科教育を充実させる、言語の習得もできるような社会的、学校教育の中で、執務立ち上げることが大切だ。旧七軒西小学校の山里交流館の活用で、そういう仕組みが生じないかと思っている。

# 西村山広域行政事務組合議会 第2回定例会

平成26年10月6日（月）寒河江市議会議事堂で開催され、決算認定3件、補正予算2件、条例制定1件、条例廃止1件、指定管理者の指定、損害賠償額を定める件が提出され、全て認定・可決されました。

## 平成25年度一般会計決算

一般会計は、総務費、民生費（明鏡荘）、消防費で構成されます。

○歳入総額 19億8千996万円

○歳出総額 14億4千209万円

消防デジタル無線事業5億2千922万円を繰越明許として、実質収支は1千864万円の黒字で、1千500万円を財政調整基金に積み立て、残りは繰越金となりました。

## 平成25年度寒河江地区クリーンセンター・斎場特別会計決算

○歳入総額 12億3千408万円

○歳出総額 11億7千768万円

差引5千639万円の黒字で、5千万円を基金に積み立て、残りは繰越金となりました。

## 平成25年度交通災害共済特別会計決算

○歳入総額 2千287万円

○歳出総額 2千182万円

差引105万円の黒字で、70万円を基金に積み立て、残りは繰越金となりました。

## 平成26年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ2千818万円を追加し、予算総額12億6千881万円。内容は、明鏡荘の指定管理業務に係る債務負担行為の設定と消防ポンプ自動車の更新です。

## 平成26年度クリーンセンター・斎場特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ5千500万円を減額し、予算総額15億4千652万円。内容は、ごみ焼却処理施設建設に係る損害賠償解決金整理基金の全額を繰入し、交付税錯誤分の調整と市町分担金の軽減を図るなど、予算全般の見直しを行ったものです。

# 第2回臨時議会

平成26年11月28日（金）寒河江市議会議事堂で開催され、寒河江地区クリーンセンターごみ焼却処理施設内で発生した事故の損害賠償に対する専決処分報告と、財産（消防ポンプ自動車）取得を議決しました。

# 議会の動き（平成26年10月～12月）

## 10月

- 1日 議会広報常任委員会
- 2日 最上村山両地方町村議会 議長会合同会議（中山町）
- 8日 議会広報常任委員会
- 14日 議会広報常任委員会
- 16日 村山置賜両地方町村議会 議長会合同会議（飯豊町）
- 20日 議会活性化検討特別委員会

## 11月

- 22日 全員協議会
- 24日 産業厚生常任委員会現地調査
- 29日 総務文教常任委員会現地調査
- 4日 県・市町村行政懇談会（県庁）
- 5日 「町民と議員との対話のつどい」（貫見こぶし館・若原区コミュニティセンター）
- 10日 議会活性化検討特別委員会
- 12日 大江西川両町議会議員協議会総会・研修会（西川町）

## 12月

- 14日 「町民と議員との対話のつどい」（町民ふれあい会館・深沢区コミュニティセンター）
- 19日 村山地方町村議会議長会 正副議長事務局長合同会議・視察研修（秋田県横手市）
- 25日 議会運営委員会
- 26日 総務文教常任委員会
- 27日 全員協議会
- 3日 第4回定例会（5日まで）
- 5日 議会広報常任委員会
- 11日 議会広報常任委員会
- 15日 西村山地方総合開発推進委員会 重要事業 県知事との懇談会（朝日町）
- 16日 議会広報常任委員会
- 18日 大江朝日両町議会議員協議会総会・研修会（朝日町）
- 19日 議会活性化検討特別委員会

次回定例会は、3月開催予定です。ぜひ傍聴においでください。

また、大江町のホームページで、議会の様子をライブや録画で見ることができます。

# 開かれた議会をめざして

## 平成26年度 町民と議員との対話のつどい・議会報告会のお礼

この度、町民の皆さんと、町民の代表である議会議員が本音で語り合い、安全で安心な町をつくるために「町民と議員との対話のつどい」を初めて開催しました。

4地区で2日間にわたり実施しましたが、有意義かつ貴重な意見や提言、ご要望をいただき、議会に対する熱い期待が感じられました。

この報告は、町政に反映すべく、いただいたご意見等に議会としてどうお答えしたかをまとめたものです。

今後も開かれた議会をめざして、町民と議員が対話する場を計画してまいりたいと思います。

どうか今後ともご理解とご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

大江町議会議長

小野 祐一

### 主な質疑・応答の内容

#### 対話のつどいについて

**質問** 今後、議員全員出席して開いて欲しい。また、地域を小さくして開催をお願いしたい。

**答え** 初めてのなので、今回は2班体制で行った。今後はより広く町民の声を聞いていきたい。議会活性化検討特別委員会を立ち上げているときなので皆さんの声を反映させ、町長へも要望していきたい。



ふれあい会館での町民とのつどい

#### 質問

活性化検討特別委員会の内容は。

#### 答え

今年4月から議会活性化検討特別委員会を立ち上げ、2つの小委員会を設けて各委員会



深沢区コミュニティセンターでの町民とのつどい

#### 議会と議員

**質問** 議会が執行権を持たないことについて。

**答え** 町長は行政の執行権限を持ち、その所掌事務について自ら意思を決定し、予算にもとづき事業を執行しなければならぬとされている。

ただし、議会は町長の示す予算案等について議決権を有しており、否決することもできる。

#### 質問

議員として、発言とか政策の実現にジレンマがある

のでは。

**答え**

政策提言ができる一般質問や各常任委員会、特別委員会及び全員協議会などで執行機関に対し十分な審議を行い、まわづぐりに寄与している。

また、町民からの請願などを審査し採択、不採択を決定し、採択の場合その実現に向け努力していく。

**質問**

予算編成にあたり、議員としての意見は反映されているのか。

**答え**

3月定例会に町長から予算案と方針が示されるが、予算特別委員会や本会議の中で、内容について積極的に質問したり意見を述べ審議している。

**質問**

議員としての自覚が足りないのでは。町民を幸せにする哲学を持つてほしい。

**答え**

各議員の4年間の活動を検証し選挙に反映してほしい。報酬をもらっているわりに、議員活動が少ない議員が散見される。

**質問**

個人の問題である。議員としてやる気のある方は積極的に立候補して、町政に参加してほしい。

**答え**

個人の問題である。議員としてやる気のある方は積極的に立候補して、町政に参加してほしい。

その他、町議会議員選挙の際、試みとして、議員間の立会演説会をしてはどうかという意見もいただいています。

**議員定数**

**質問**

定数が多すぎるのでは。委員会活動が弱小になることや町民の声を反映する面からも現状が適当と考えるが、

**答え**

将来を見据えて検討していきたい。また、女性や若い人が出られる環境づくりも必要であると考える。

**質問**

議員定数について、他市町村を参考にどのように考え、論議しているのか。

**答え**

人口の推移なども考慮し、議会活性化検討特別委員会の中で検討していきたい。

**質問**

定数削減には反対であるが、報酬を削減することはどうか。

**答え**

議会活性化検討特別委員会でも検討しており、他市町村の動向等も含めながら検討していきたい。

**道路整備等**

**質問**

県道中山三郷寒河江線の道路補修については。

深沢と用を結ぶ県道でもあり、大江・朝日両町議員協議会での懸案事項として要望していく。

**答え**



県道中山三郷寒河江線の早期改修を

**質問**

大江・西川線の工事状況は。

**答え**

事業は順調に進んでいると考えている。



県道大江西川線貫見工区の様況

**質問**

地元として、毎年適切な除雪をしていただいております。ありがたい。

**答え**

春先の排雪関係も定期的に対応していただいております。今後も町の除雪計画に反映していく。

**廃校・公有地等の活用**

**質問**

高齢者世帯の雪下ろしなどの公有地に高齢者のマンション、ケアハウス、アパートなどの建設はできないか。

**答え**

今年度中に、駅前公有地について町長は結論を出したいと考えているようである。

**質問**

旧七軒西小の今後の運営については。

**答え**

大江町山里交流館として、平成27年4月オープンを目指し準備している。

**質問**

指定管理者に委託するの

**答え**

委託の予定であり、運営について検討中である。地元の人との協力をお願いしていきたい。

**質問** 元きらやか銀行の建物で写真展を開催中、トイレが使用できなかった。

**答え** その後、耐震診断をしているが、この件については担当課に伝える。

### 保育行政

**質問** 保育園の定数が満たない中で、入りたくても入れてもらえず町外の保育園に通っている幼児が、来春、小学1年生になる。

条例もあると思うが、町内の保育園に入園できるようにならないのか。

**答え** 条例もあるが、この件については担当課に伝える。

### 人口減少対策

**質問** 将来のことも含め、町の人口減少にどう考えているのか。

**答え** 現在、町では主な対策として次の項目をあげている。

- 1 若者が地元で働けるよう、魅力ある職場を創出する。
- 2 中学生までの医療費の無料化
- 3 第2子から第3子に至るまで幼稚園・保育園にかかる費用の半分負担
- 4 3人目以降は無料化
- 5 婚活チャーター制度の活用

**質問** 子どもがいないのが一番つらい。

その中で、家から通勤している若い人が少し増えている。

**答え** 地域の危機感については同じ思いであり、将来を見据えていきたい。



子どもは未来にはばたく宝もの

### 左沢高校の存続

**質問** 左沢高校が総合高校としてスタートしたが、将来の存続が心配である。

**答え** 平成27年4月より、寒河江高校高松分校がなくなり、左沢高校に農業系列ができる。

高松校舎園地も管理移管される。町に高校があるのとないのは大きな差がある。

生徒が7〜8割利用しているJ R左沢線の存続も含め努力していきたい。

### 林業対策等

**質問** 町面積の8割は山林である。

**答え** 林業の活性化を図ってほしい。現在、中央公民館改築等にも西山杉を使用するため、町有林の7haを伐採している。

また、大江町型住宅や薪ボイラー、薪ストーブへの間伐材の活用など、普及拡大に向けて取り組んでいる。



豊富な森林資源を活用したい

**質問** 共有林にかかる税徴収について、共有者が県外に居住し、連絡が取れない人もいる。区の経費から収めている状況である。

**答え** 県外へ離れた人には権利放棄してもらうなど、また、自治会組織で規約を定め、自治会の山林（財産）とする方法などはないか要望していく。



七軒地区共有林の見事な西山杉

**質問** 庄内地方では、木材乾燥室とかバイオマスエネルギー等の分野で頑張っている。



福島のバイオ発電等では60人の雇用があるが、町として研究開発しては。

**答え** 県は省エネルギー対策などを強調しており、バイオ発電等を含め成功している町の事例を研究し、行政と共に努力したい。

### 鳥獣被害対策

**質問** 町と鳥獣被害対策協議会が協力して、被害地区の住民にワナをしかけさせるなど、運用・管理を任せることができないのか。

**答え** 基本的には免許を有するものがワナをしかけるが、被害対処は迅速性を要求されるので行政側と共に検討していきたい。

### 空き家対策

**質問** 危険な空き家が見られ、所有者が処分できない状況にある。

**答え** 平成25年3月に大江町空き家等の適正管理に関する条例を制定した。解体費用について、財政的に困難な所有者もいると聞く。

全国的な問題となっており、国や県の対策や方針を待ち、できれば補助金などがあれば良いと考えている。行政側に提言したい。



撤去が求められる空家

### 地域の要望

**質問** 排雪でクローバー商店付近の柵が詰まっている。年間を通して町内水路に水を流してほしい。

**答え** 北堰の水を町内に流すようになっている。排雪にまで水路の水を通すには現状では難しいが、町の方へ要望していきたい。

### 質問

町に移住したい方がおり、田を宅地にする用途変更を申請したが、許可ならなかった。簡略化できないのか。

**答え** 町に住んでいたためにも内容を精査し、検討したい。農振除外ができるよう要望していく。



排雪等で柵が詰まってしまう

### その他

**質問** 庁舎の太陽光パネルの概要は。

**答え** 通常は庁舎用の電源として使用するほか、災害時への対応として、蓄電池に充電することになっている。

その他、100%国県の補助で、体育センター側にも設置する。



体育センター駐輪場の太陽光パネル

**質問** 地域の外灯は53基あり、今まで区から15万円ほど使料金を出していた。

**答え** LED化されてから料金が2分の1程度になり大変ありがたい。ふるさと納税を利用して町全体の2分の1がLED化された。今後もLED化を進めていく。

# 総務文教常任 委員会現地調査

10月29日（水）、委員6名は、大江中学校と旧七軒西小学校改築事業の現状等について現地調査を行いました。

## 一 大江中学校訪問

頭彰室で渡辺校長先生と設楽教頭先生の出席を得て、平成26年度学校経営について説明を受けました。  
主な内容は次のとおりです。

## 学校の実態

学級数は11（特別支援学級2）で生徒数は227名（男116名・女111名）、今後の生徒数推移は平成27年には224名、平成28年には207名と減少の傾向にあります。  
全国的に少子化の傾向にあることを実感しました。

## 経営について

校訓は「友愛・錬磨・探求」です。

また、学校教育の目標として「時代を拓く豊かな心を持ち、主体的に生きる生徒の育成」を掲げています。

## 重点方針と課題

- 三大重点方針として、次のとおり掲げています。
- 学びの創造と授業改善、聴くことを大切に学び合う教室に
- 人とのかわり、地域の自然や文化とのかわりを大切にした共生教育の推進
- 生徒会活動の活性化



頭彰室で学校経営の説明を受ける

## 授業参観

一年生から三年生までの授業を参観しました。  
全教科にわたり先生方の指導の

もと、熱心に勉学に励んでいる姿に心を打たれました。  
また、教科によっては机を合わせ、グループ討議などを行っていることは印象的でした。



1年生、真剣なまなざしで理科の実験

## 給食体験

昼食を試食しました（実費負担）。献立は鯛梅（紀州）しょうゆ煮、塩コンブ和え、バナナ、マーボ豆腐で美味しくいただきました。

## 二 旧七軒西小学校改築事業の現状等について

担当課長の説明を受け、くまな

く建物の内部を調査しました。  
50人槽の合併浄化槽、薪ボイラー施設及び室内の耐火構造等も完成し、10月末に改修工事が完了しました。

## 契約内容

### 改修工事

請負者 高子建設（株）  
契約金額 3千392万円  
工期 平成26年7月25日～

10月31日

### 実施設計及び監理業務

請負者 建築設計 藤野事務所  
契約金額 170万円  
期間 平成26年4月28日～

11月14日



森林資源を活用した薪ボイラー

**産業厚生常任  
委員会現地調査**

平成26年10月24日、7・18豪雨  
災害現場視察、及び所管の現地調  
査を行いました。

《御館山災害現場》貫見迎田地内  
仮設道路、ボーリング調査、館の  
沢地帯土砂撤去等1億6千万円  
(県事業)



《林道長畑線災害現場》柳川地内  
復旧請負金額1千400万円(97%国  
庫補助金)



災害現況



復旧工事完成

《町道月布大鉢線災害現場》月布  
地内、復旧請負金額2か所1千868  
万円(82%国庫補助)



《三郷配水池築造工事》三郷地内  
工事請負金額6千2万円



《老人福祉センター改修工事》



眺望風呂解体



露天風呂完成

# 山形県町村議会議長会 議員研修会

10月20日（月）山形国際交流プラザにおいて開催され、2名の講師より講演がありました。

## 1 「農政改革の現状とこれからの課題」

講師 東京大学環境経済学研究室  
教授 鈴木 宣弘氏

### 主な内容

TTP参加の功罪として、TTPは国際条約を利用して米国企業の儲けやすい仕組みを世界に広げるといふ壮大な制度改変である。

JAなどの農業関係組織が目の組織防衛に走れば、思うつぼにはまり、墓穴を掘る。

農業が崩壊して、地域が崩壊して、組織だけが生き残れるわけではない。

「組織が組織のために働いたら組織が潰れる。拠って立つ人々のために働いてこそ組織も存続できる」ことを忘れてはならない。

全農の株式会社化についても、「株式会社にするのが全農のビジネスに損か得か」を議論してはいけない。

「農家、農村を守れるか」でなくしては、最終的に組織も持たないことを肝に銘じるべきである。

仮に、農産物の価格が低迷し生産コストを下回った場合にその差額を補填するため、農家の所得を下支えする「岩盤」政策として導入された個別所得補償制度などを廃止して、収入変動をならす「ナラシ」政策のみに戻し、それを収入保険の形にしていこうという政策が実施されたら、農村現場はさらに深刻な事態に直面する危険がある。



講師の東京大学環境経済学研究室 鈴木宣弘教授

## 2 「これからの政治・経済のゆくえ」

講師 帝京大学経済学部教授  
黒崎 誠氏

### 主な内容

安倍総理はアベノミクス等様々な政策を立ち上げているが、自分が得意とする分野が失敗すると権が倒れる恐れがある。

民主党がその良い例である。

高速道料金の無料化とかガソリン税をタダにしたら、国道の修理・新設道工事費用などの予算はどこから補填するのか。普天間の基地移転問題にしても、国外移転は可能なのか……など失敗の例がある。

組織の原理（人間の習性）として次の比率が考えられる。

○20%が最初からチャランポラン

○20%は最初からやる気満々

○60%はどっちつかず

この中で、最初からやる気満々であれば、60%の組織がついてくる。

安倍内閣は、景気対策や社会保障福祉政策に重点をおいているが、やる気満々で政策を実現しなければ

ならない。  
ダメになると、60%はチャランポランになってしまう。

また、女性の活用とか地方創生をクローズアップし、女性の管理職を30%に引き上げるとしているが、世界の中で、日本の女性の管理職の割合は57位である。

安倍内閣は政策に急ぎすぎる感じがあるが、実現に向け努力してほしい。

地方創生に関しては地方に働く場所を集中化し、地方が十分に生き残れるよう実現すべきだ。



講師の帝京大学経済学部 黒崎誠教授

## 大江・西川 両町議会議員協議会 総会及び研修会

平成26年11月10日(月)、両町議会議員協議会総会が西川町「玉貴」で行われました。総会に先立ち、「志田周子の生涯」の映画化取り組みについての研修会を行いました。

明治43年 「志田周子」左沢に生まれる。  
大正3年(3歳)

父莊次郎が大井沢小学校校長に  
栄進し、大井沢に移住。

昭和8年(22歳)

東京女子医学専門学校(現東京  
女子医科大学)卒業。

昭和10年(24歳)

大井沢診療医、村医、学校医と  
なる。

昭和22年(36歳)

大井沢村議会議員当選。

昭和31年(45歳)

NHK宮田輝訪問。  
「僻地に生きて20年

—ある女医の一生—」放送。

昭和34年(48歳)

第11回保健文化賞受賞。

昭和37年(51歳)

がんを患い県立山形病院内科に

入院。7月18日 永眠。  
陸の孤島と言われた無医村に生  
涯を捧げた女医志田周子。彼女が  
守ったものは村人のいのち、地域  
のくらし、そして家族の愛でした。  
目指すのはまちづくり型の映画  
で、募金を募っています。

### 【総会】

①主要地方道大江西川線道路改良  
の整備促進について  
②主要地方道貫見間沢線の整備促  
進について

全会一致で決定し、早期完成、  
早期着手を、吉村美栄子県知事は  
じめ県担当部署に要望することを  
決議しました。

27年度の役員体制として大江町  
担当を決め閉会しました。



最上川、大明神付近での口ケ

## 大江・朝日 両町議会議員協議会 総会及び研修会

12月18日、大江・朝日両町議会  
議員協議会が朝日町「朝日自然  
観」で行われました。



あいさつする小野議長

総会では、次の事項について活  
発な協議が行われました。

1 平成27年度役員改選

大江町議会小野祐一議長が協議  
会会長に選出されました。

2 両町の共通課題

○観光交流

白鷹・朝日・大江広域観光の促  
進を図っていく。

○県道の整備促進

県道中山三郷寒河江線(深沢  
用)の道路改良や交通安全施設  
の整備促進を県に要望していく。  
○鳥獣被害防止計画等

松保く大暮山く焼野地区周辺に  
イノシシが出現しているため、  
両町が協力し、鳥獣被害防止に  
努めていく。

○楯岡特別支援学校大江校

旧三郷小が平成27年4月に、楯  
岡特別支援学校大江校として開  
校。

また、総会に先立ち、「山形県  
の人口減少対策について」人口減  
少対策プロジェクトチームの中間  
報告から」と題し、研修会が行  
われました。

講師 山形県企画調整部

企画調整課課長補佐

伊澤 能之氏



伊澤 能之氏

# 私もひまわり



鈴木 幸恵  
(蛍水区)

この町で子育てを始めて、10年が経過しました。この間、第2子の誕生もあり、賑やかな日々を過ごしています。

私は、母親の影響もあり、小さな頃から『本』が好きな子供でした。

近所のコミュニティセンターで開催される「親子読書会」に足繁く通い、鶴岡市立図書館からやってくる移動図書館「やまびこ号」を心待ちにしたりしていました。

実家が市の中心部より離れた湯田川にありましたので、小学生の自分には、やまびこ号が「夢を運ぶバス」のように感じられたものです。

こんな私の影響を受けてか、子供たちもまた『本』の好きな子供に育っています。

中央公民館で開催される「おはなしかい」には毎回のように参加し、そのあと「図書室」で自分好みの絵本を探し出し、おやすみ前に読み聞かせ、なんだか自分の幼少時代を見ているようです。

幼いころに読んだ良い本は、大人となった今も心の中に、懐かしさとともに存在しているように思います。

子供たちにも、良い本にめぐり合い、豊かな心が育まれることを願ってやみません。

この度、大江町中央公民館が生まれ変わること。従来の図書室が『図書館』となって、広く充実

した施設になると伺っています。

子供たち

と一緒に、

新しい『図書館』に期

待をこめて、

とても楽しみにしています。



たくさんの人に良い本と出合ってもらいたい...

## 編集後記

今年もまた冬將軍がやってきた。

昨年の手帳を見るとほぼ同じような降雪時期であるが、今年には日本海や北海道周辺が風速35mという大荒れの暴風雪に見舞われた。

この先が心配である。

冬期における地域の産業経済活動と町民の暮らしの安定を図るため、早朝から除雪作業に従事している方や、高齢者宅の雪下ろし等に頑張っている方々には頭が下がる思いである。

しかし、除雪作業は皆で一致協力して雪と戦わなければならないと考える。

思想家孟子は「無惻隱之心非人也」（いたわしく思う心がなければ人間ではない）と言っている。

この言葉をかみしめ、事に臨んでいきたいものである。

(記・宇津江雅人)



### 【発行責任者】

◆議長 小野 祐一

### 【大江町議会広報常任委員会】

◆委員長 安食 幸治

◆副委員長 宇津江雅人

◆委員 菊地 勝秀

◆委員 古城 紀夫